



水郷県民の森で初の演奏会

第一回水郷県民の森音楽祭



水郷県民の森(潮来市島須)で「第1回水郷県民の森音楽祭」が10月5日に開かれ、来場者たちはさわやかな秋空の下、演奏に聞き入っていた。音楽祭は、オカリナ奏者神森響さん(鹿嶋市)の



呼びかけにより、潮来市や鹿嶋市の7団体が演奏を披露した。潮来二中や牛堀中の吹奏楽のほかクラシックギター、ジャズ&ポップス、カントリーウエスタンなど多彩なジャン



ルで来場者たちは楽しんだ。演奏を聞いた一人は「野外で聞く演奏はまた違った感じでもとても良かったです。ぜひ来年もやってほしい」と話していた。

潮来二中、牛堀中、潮来ギターアンサンブルによる演奏

潮来産コシヒカリ

おいしいお米ができました

潮来あやめちゃん



9月21日の稲刈り体験交流会 かわいいパッケージの潮来あやめちゃん

森内さんは「きちんとした物を、きちんとした管理のもとで作っている。地元のおいしい米をもっとたくさんの人に食べてもらいたい。」と話していた。

業を行った。潮来市島須地区ほ場で同会主催の「稲刈り体験交流会」が開催され、東京の豊島区巣鴨などの米穀店の方たちや消費者の家族連れ、地元小学校の子供たち、約80名が参加し、鎌を使って稲刈り作業を行った。

潮来市大規模稲作研究会(森内泰男会長)が作った新しいブランド米「潮来あやめちゃん」が都内の米穀店や市内のスーパー、道の駅等で販売されている。同研究会は、市内42人の農家で作る「安心して食べられるお米を作りた」と始まったもの。新しいブランド米を作り始めて5年。余り農薬を使わず、牛ふん堆肥を使用し、今年3月に商標登録されたもの。米は、大粒で、うまみを示す食味値によって3種類あり、市内では、学校給食やホテル、旅館等で食べられている。